

2024年1月

# グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、個人消費は緩やかに持ち直しているが  
企業活動には弱さが見られ、雇用環境に悪影響が及んでいる

内閣府の月例経済報告（2024年1月25日公表）において、「景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している」との判断が維持された。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に12月の値）に基づき報告する。

## 全国の情勢

① 需要動向に関して、「個人消費」、「公共投資」、「住宅建設」、「設備投資」の判断は維持されたものの、「輸出」に関しては、欧州連合（EU）向けの輸出が減少傾向にあることから、「このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる」と下方修正となった（判断の引き下げは1年ぶり）。

② 企業活動に関して、「生産」、「倒産件数」、「企業収益」、「業況判断」のいずれについても判断が維持された。

③ 雇用情勢に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「国内企業物価」については、「緩やかに下落している」との判断が維持される一方で、「消費者物価」については、生鮮食品を除く総合指数の前年比上昇率が鈍化しており、「このところ緩やかに上昇している」との表現に変更された。

⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している」との判断が維持された。国・地域別については、実質GDPならびに財輸出で持ち直しの動きがみられる台湾において、判断が引き上げられた。

## 和歌山県の情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（12月）は、前年同月比1.5%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（12月）が前年同月比2.0%減となっている（減少は2か月ぶり）。和歌山市内の消費者物価指数（12月）は高い水準で推移しており、家計の節約志向の強まりが懸念される。

新車販売台数（軽自動車〔乗用〕含む、12月）は、前年同月比4.0%減となり、16か月ぶりに前年を下回った。登録車の登録台数が前年同月を上回る一方で、軽乗用車については2か月連続で前年を下回った。大手自動車メーカーが認証試験の不正問題を受けて、全車種の出荷を停止しており、この影響が見られたものと考えられる。

新設住宅着工戸数（12月）は、前年同月比50.9%減（2か月連続で前年を下回る）。2023年累計での新設住宅着工戸数は前年比16.8%減となっており、直近10年間では最も少なくなっている。着工戸数が減少傾向にある要因としては、住宅価格の上昇が挙げられる。

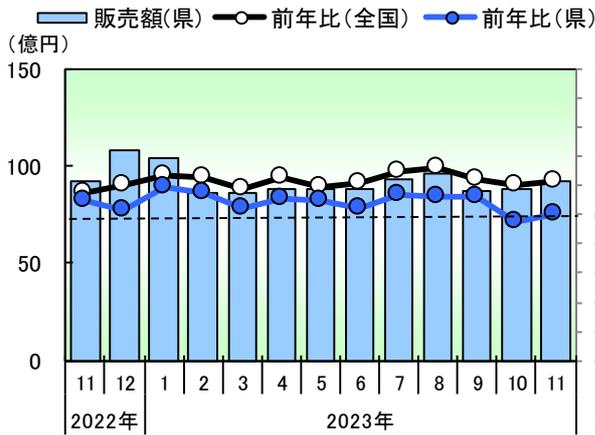
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（11月）は87.7で、コロナ禍前の2019年11月の102.5に比べて15ポイント低い水準にある。県内製油所の精製機能停止を受けて、化学工業と石油・石炭製品工業の生産指数が大幅に下降。鉄鋼業の生産指数も低迷している。機械工業については、はん用機械・生産用機械ともに持ち直しの動きが見られる。

公共工事請負金額（12月）は、前年同月比 325.0%増（前年の約3倍）となり、4か月連続で前年を上回った。4～12月までの累計請負金額は、前年同期比 3.5%増となった。

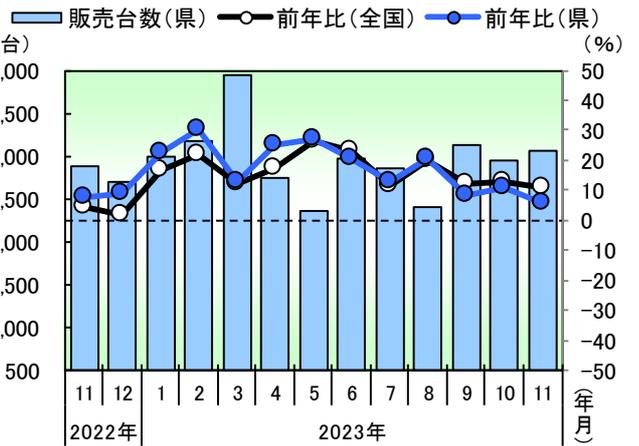
帝国データバンクが発表している県内 TDB 景気 DI（12月）は、前月から 1.9 ポイント下降。製造業における景気 DI の下降が響いた。

③ 雇用面については、有効求人倍率（12月）は、前月から 0.02 ポイント上昇し、1.09 倍（上昇は 4 か月ぶり）。有効求人数が 4 か月ぶりに増加した。有効求職者数についても 4 か月連続で増加している。このような状況を受けて、和歌山労働局では、「求人の一部に足踏み感がある」としている。

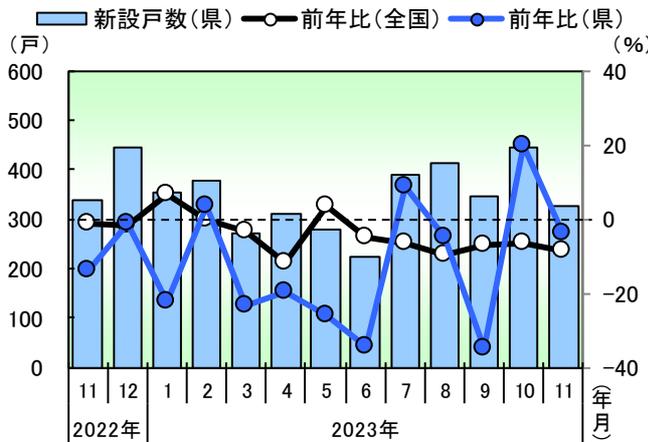
百貨店・スーパー販売額



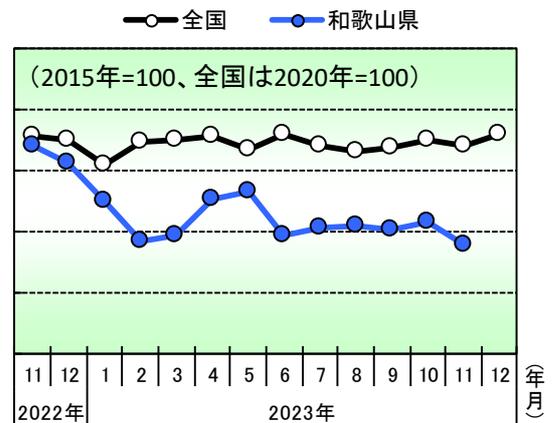
新車(登録車+軽自動車)販売台数



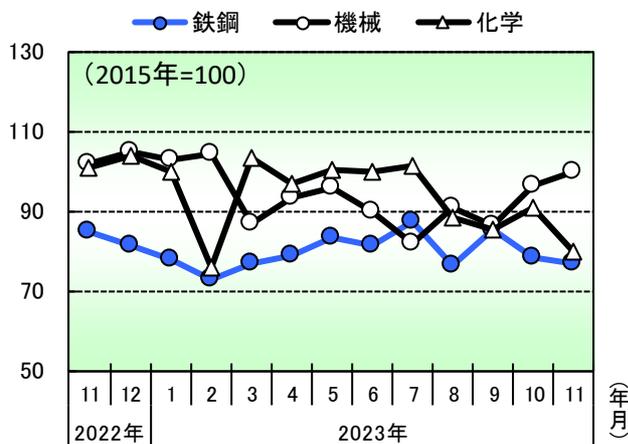
新設住宅着工戸数



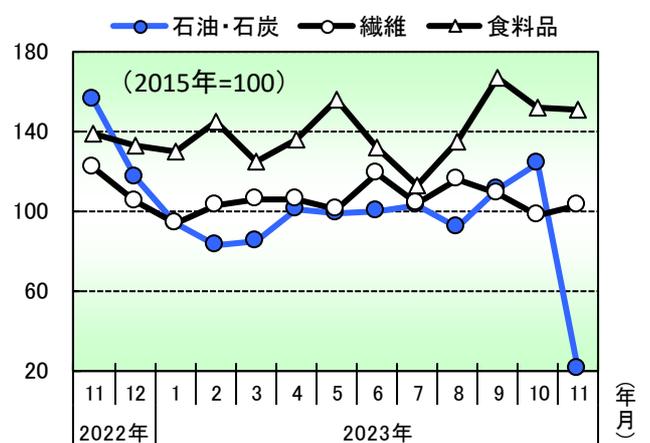
鉱工業生産指数



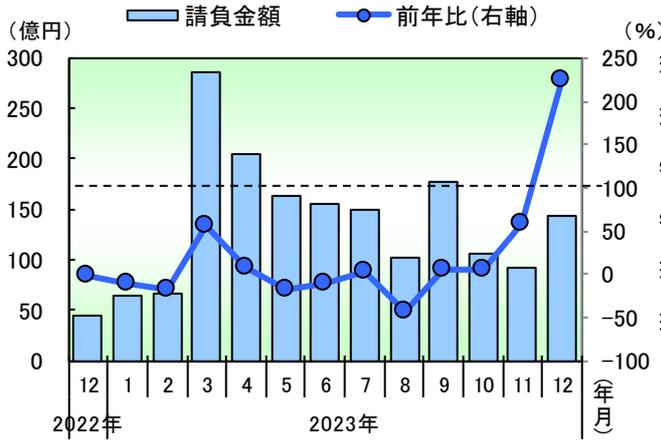
鉱工業生産指数(和歌山県)



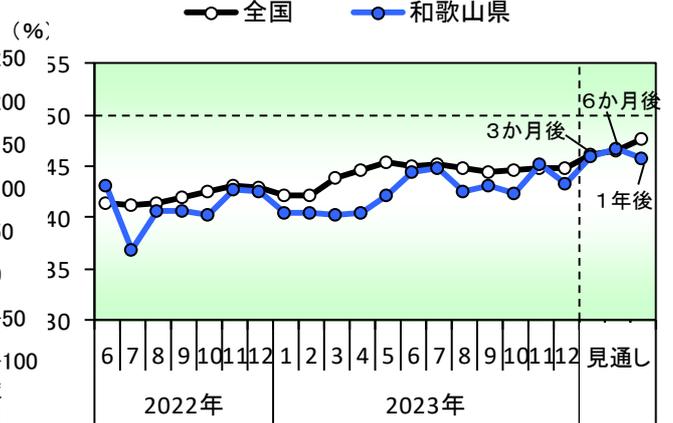
鉱工業生産指数(和歌山県)



### 公共工事請負金額(和歌山県)

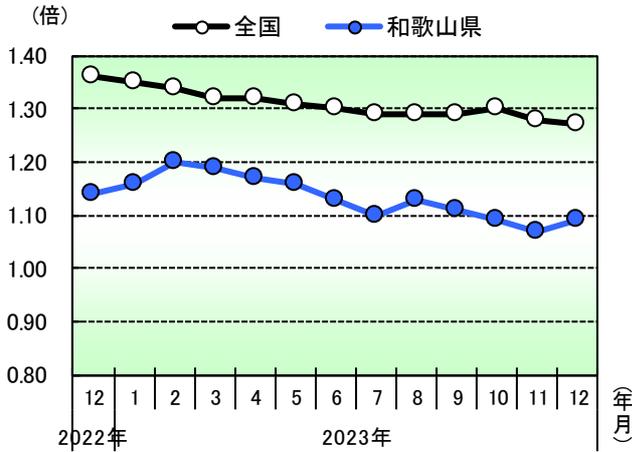


### TDB景気DI (判断の分れ目は50)



(資料)株式会社帝国データバンク

### 有効求人倍率



### (1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2022年11月	92.0	3.0	2.0	2,877	4.5	7.5	338	-1.4	-13.8
12月	107.8	4.1	0.7	2,696	1.6	9.2	444	-1.7	-1.1
2023年1月	104.4	5.5	3.8	2,999	16.6	22.3	354	6.6	-22.0
2月	86.7	5.2	3.0	3,185	22.1	30.4	378	-0.3	3.8
3月	85.9	3.6	0.8	3,942	12.2	13.2	271	-3.2	-23.2
4月	88.4	5.2	2.2	2,754	17.4	25.2	312	-11.9	-19.8
5月	88.5	3.7	2.0	2,350	26.2	27.2	278	3.5	-25.9
6月	88.5	4.3	1.0	2,973	23.4	20.8	225	-4.8	-34.6
7月	93.4	5.9	2.7	2,866	11.7	12.7	390	-6.7	8.9
8月	96.1	6.5	2.6	2,410	20.2	20.4	415	-9.4	-4.8
9月	87.2	4.8	2.6	3,133	11.9	8.1	346	-6.8	-34.8
10月	88.5	4.0	-1.0	2,941	13.0	11.1	446	-6.3	19.9
11月	92.3	4.4	0.2	3,051	11.2	6.0	325	-8.5	-3.8
12月	106.2	2.6	-1.5	2,589	6.6	-4.0	218	-4.0	-50.9

(2024年1月31日に取得可能な資料より作成)

(2) 企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2018年	114.6	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2022年11月	105.5	104.0	85.0	101.6	100.6	155.6	121.2	139.0	58.5	-16.1	42.7
12月	104.9	101.0	81.5	104.7	103.8	116.8	105.0	132.9	44.3	-2.3	42.6
2023年1月	100.8	94.7	77.6	102.6	99.8	93.7	93.9	129.6	65.1	-9.6	40.4
2月	104.5	88.2	72.7	104.1	75.7	82.6	102.5	144.3	65.8	-16.8	40.5
3月	104.8	89.2	76.7	86.8	103.3	84.4	105.2	124.2	285.3	57.1	40.3
4月	105.5	95.1	78.6	93.4	96.6	100.3	106.0	135.3	205.7	8.7	40.5
5月	103.2	96.5	83.5	95.8	100.2	98.7	100.2	155.2	162.9	-17.7	42.2
6月	105.7	89.1	81.5	89.7	99.6	99.4	118.4	131.5	155.3	-10.1	44.4
7月	103.8	90.4	87.4	81.8	101.4	102.7	103.3	112.4	150.4	3.5	44.8
8月	103.1	90.8	76.3	90.6	88.5	91.8	115.1	134.2	101.6	-42.5	42.5
9月	103.6	90.2	85.1	86.2	85.2	110.2	108.4	167.0	176.8	6.5	43.1
10月	104.9	91.3	78.5	96.2	90.7	123.1	97.1	151.7	106.5	5.9	42.4
11月	104.0	87.7	76.7	100.0	79.9	20.1	102.2	150.8	92.3	57.7	45.2
12月	105.9							143.9	225.0		43.3

(注) 鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2024年1月31日に取得可能な資料より作成)

(3) 雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2022年11月	1.35	1.15	16,626	14,400	14.5	15.7
12月	1.36	1.14	16,377	14,386	12.7	13.3
2023年1月	1.35	1.16	16,260	13,991	11.1	12.2
2月	1.34	1.20	16,571	13,838	15.3	18.8
3月	1.32	1.19	16,870	14,216	18.5	21.5
4月	1.32	1.17	16,849	14,373	15.4	21.0
5月	1.31	1.16	16,464	14,179	16.5	20.2
6月	1.30	1.13	16,005	14,223	14.0	17.8
7月	1.29	1.10	15,975	14,466	14.1	15.4
8月	1.29	1.13	16,291	14,453	13.3	14.5
9月	1.29	1.11	16,281	14,660	15.4	17.0
10月	1.30	1.09	16,021	14,719	14.8	16.2
11月	1.28	1.07	15,875	14,772	14.9	50.9
12月	1.27	1.09	16,281	14,905	13.0	15.4

(2024年1月31日に取得可能な資料より作成)

(注1) 有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2) 「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。